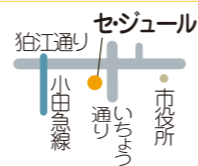


いちおし **ケーキ** **菓子工房セ・ジュール**

☎03-3480-8862 和泉本町1-2-8 時間=10時~19時 火・第3月休み



藤田さん

秋の木の葉の代表格クリを使ったケーキを提供しているのが、狛江市役所前交差点にあるフランス菓子店「菓子工房セ・ジュール」。

店のショーケースには生菓子約20種、焼き菓子20数種が常時並んでいるが、この時期に人気を集めるのが熊本産のクリを使ったミルフィーユとブルミエマロンだ。ミルフィーユは、刻んだクリを混ぜ



和クリのミルフィーユ(左)とブルミエマロン(右)

自然素材の持ち味かした安全・安心のケーキ

たカスタードクリームとパイを挟んである。パイは粉状の砂糖を表面に振って高温で焼き、アメ状の膜を作る工夫によって、サクッとした食感を保っている。ブルミエマロンは、クリで作ったクリームとカラメル生クリームに刻んだクリを加え、しっとりしたスフレ生地で巻いたロールケーキで、和グリのやさしい甘

さがふんわりした食感とよく合う。同店は、狛江育ちの藤田剛さん(52)が各地の洋菓子店で修行、昭和57年に開いた。24歳で独立したため、最初は苦勞の連続だったが、独力で工夫を重ねながらレパートリーを増やし、平成20年に狛江市が催したスイーツ逸品コンテストでは天使のミルティエユが

優秀賞を獲得した。現在は安全でおいしい食材を全国から取り寄せ、四季折々の自然素材の持ち味を生かしたケーキ作りを心がけている。誕生日などに贈る絵やメッセージをあしらったデコレーションケーキの注文にも応じており、人気を呼んでいる。藤田さんは「小さな子にも安全で安心なお菓子で幸せな気持ちになっていただければ」と話している。

menu

和グリのミルフィーユ¥440、ブルミエマロン¥1,580、モンブラン¥430、こまエポテト¥210、エンガディナー(小) ¥2,600、天使のミルティエユ¥400、こまdeシュール ¥190、みつ星プリン¥160 (消費税込み)

市役所に懸垂幕と掲示板

「絵手紙発祥の地-狛江」を多くの人に伝えようと、市役所庁舎の壁面に、幅85cm、高さ8.5mの大型の懸垂幕が9月におめみえした。懸垂幕には、絵手紙作家小池邦夫さんによる「絵手紙発祥の地-狛江」の文字と羽ばたく鶴の絵がかかっている。これまで狛江駅北口のエコルマ1のビル外壁に

下げられていた懸垂幕に次ぐもので、「絵手紙発祥の地-狛江」のPRに一役かっている。このほか、市役所正門横にも横217cm、高さ205cmの掲示板が立てられた。掲示板には、絵手紙サポーターなどがかけた絵手紙のギャラリーと、絵手紙を報道した新聞記事などがはってあり、道行く人が足を止めて見入っている。*この欄に掲載を希望する絵手紙団体を募集します。連絡は☎3430-6617k-press。



淵沢芳子さん(元和泉)

絵手紙の魅力「ハガキからはみ出るくらい大きく、自由にかけられるのが魅力です。また、ハガキだけでなく、うちわやコースター等に季節感あふれるものをかくことも楽しいものです。私が営んでいる美容室に絵手紙を飾っていますが、絵手紙を通じてお客様との会話もはずみ、店が明るくなります」

ひらがれ 絵手紙の輪

「狛江-絵手紙サポーター」から寄せられた絵手紙とコメントをご紹介します。問い合わせ☎3430-1111 狛江市地域活性化課市民文化係

若者が演じた祭の素人演芸会



昭和27年の子之権現三島神社の秋まつりに奉納した素人演芸の出演者たち。

高木光雄さん(83)によると、同神社では、戦後の食糧難が収まったころから、9月19日に行われる秋の例大祭前日の宵宮をにぎやかにしようと考えた。他の地区の宵宮はブ



肖像の狛江

口芸人を呼んで歌謡ショーや芝居などの演芸会を開いていたが、当時覚東地区には家が30数軒しかなかったためそのゆとりがなく、青年団が中心となり素人演芸を催すことを企画した。喜多見駅近くに住んでいた映画会社「東宝」の女性プロデューサーが芝居の指導を引き受けてくれ、祭の約1カ月前から、出演する若者たちは仕事が終わった

取材・写真協力=高木光雄さん

「夕焼け小焼けの赤とんぼ」の童謡で親しまれる秋のトンボの主演-アカトンボは、とんぼ池公園(前原公園)でも見ることができる。アカトンボの代表格のアキアカネをはじめ、ナツアカネ、マユタテアカネ、ミヤマアカネ、ネキトンボ、コノシメトンボ、ノシメトンボなどである。



ミヤマアカネ(上)とチョウトンボ

アキアカネは梅雨の時期に田んぼや池で羽化し、高原地帯へ避暑旅行に出かけ、秋の訪れとともに体を赤く変えて、山から里へ下りてく

避暑帰り

9月初めにはとんぼ池公園で数匹しか見られず、例年に比べ少ないため心配だったが、台風15号の後にたくさん姿を現してくれた。珍しいトンボでは、チョウトンボがこたしも見られた。卵を産んでいったので来年は多く見られるかもと期待



所在地=西野川3-11-1

池の北側の原っぱでは、大豆の原種のツルマメが一面を覆い、淡紅紫色の小さい蝶形花を咲かせた。やがてサヤエンドウのような豆をつける。こたし初めて、珍しい実を見つけた。ツノハシバミで、角を突き出したおもしろい形をしている。中央広場の芝生にはいろいろな野草が生えている。クローバーやオオバコに混じってトキワハゼ(ゴマノハグサ科)の花を見つけた。小さくてかわいい花なので、探してみたい。

とんぼの会=文・山本八郎、写真・齊田靖匡